



# 校長通信

令和6年度14号 令和7年1月9日

和歌山市立河北中学校 校長 戸川定昭

新年あけましておめでとうございます。今年は、巳年。へびは、「新しい自分に生まれ変わる」「幸せな未来をつかむ」という意味をもっているそうです。生徒全員、幸せな未来がつかめるよう、本校の教育活動を充実させていきたいと思ひます。本年も、本校の取組にご理解・ご協力を賜りますよう、よろしくお祈ひします。



## 《3学期スタート！》

1月6日、3学期がスタートし体育館において始業式を行いました。冬休み中、大きな事故もなく、無事3学期がスタートし、子供たちの元気な姿を目にすることができて、たいへん嬉しく思ひました。

さて、私事ですが、年末、40歳になる私の教え子たちの同窓会に招待され、なつかしい話で盛り上がり、楽しいひと時を過ごしました。その中で、会社を興し、東南アジアに行く機会が増えた教え子が、中学校の時、もっと英語の勉強をしておけばよかったと話していました。また、自分の子供があるスポーツで日本代表となり、アメリカで開催された世界大会に子供を引率してアメリカに行ったという教え子も、英語を勉強しておけばよかったと話していました。その時、今からでも遅くないよ、と私は声をかけたのですが、確かに中学校時代は、吸収も速く、勉強しやすい環境にあるなと思ひ、彼らの後悔の念も、わかる気がしました。

始業式で、この話を例に出し、大人になって悔やむより、中学生の今、学習できる環境にある時に、しっかり勉強するよう促しました。英語だけでなく、中学校で学ぶすべての教科は、将来様々な場面で必要になる知識・技能の基礎・基本です。苦手分野もあるかと思ひますが、あきらめず、時間をかけてもいいので、こつこつ努力して欲しいと思ひます。この実践が、冒頭に述べた「幸せな未来をつかむ」につながってくると思ひます。各ご家庭でも、子供たちを励ましてあげてください。